

# がんばんべ佐野通信 Vol.5

佐野市議会議員 立川しゅんいち 発行元：立川俊一／佐野市牧町636

-ごあいさつ-

新年度を迎えました。日頃より温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。本号では、2月議会における一般質問をはじめ、予算審査特別委員会や本会議での議案質疑についてご報告いたします。今後も皆様の声を大切にしながら、市政課題に取り組んでまいります。引き続きよろしくお願い申し上げます。

## 佐野市議会

## 2月定例会

## 一般質問

●山間部における土地利用の適正化と土砂災害防止対策について

令和元年、本市は台風19号により甚大な被害に見舞われ、山間部など市内各所で土砂崩れが発生し、川の氾濫によって孤立集落が発生しました。佐野市は、市域の約6割が森林で、土砂災害警戒区域が951か所、土砂災害特別警戒区域が869か所存在しており、山林に起因する災害を未然に防ぐことが求められます。しかし、本市では、未だに林業の作業道崩壊による土砂崩れ、土砂流出の被害が確認され、また、全国的には、太陽光発電設備設置のための林地開発により、同様の被害が発生しています。森林には、水源涵養、山地災害防止、木材等生産等々、市民にとって重要な機能が多数あります。短期的な経済合理性の追求を抑制し、環境保全と経済活動を両立させ、佐野市の美しい自然と市民生活の安全の確保をすることが大切であるとの考えの下、質問を展開しました。

### 質問要旨：

- ① 伐採届と合わせて提出するチェックリストに、傾斜度や保全対象からの距離、地形等について明確な数値基準を追加すべきではないか。
- ② 伐採予定地の地形、地質リスクの確認のため、CS立体図等の科学的データを活用しているか。
- ③ 地域林政アドバイザー等の森林行政に関する専門人材の雇用に関して、現在の状況を伺う。

計測を基盤とした高精度な森林情報を確認できるようなもの。地形状況等を事業者へ提供すること、森林の保全につながるもの。今年度より、林業の経験と鳥獣管理士準1級の資格を有し、栃木県の生物多様性アドバイザーでもある会計年度任用職員を任用している。この職員は、地域林政アドバイザーの認定に必要な研修を先月受講し、令和8年度より地域林政アドバイザーとして従事していただく。林業に関わる施策の企画立案や林業関係者等への指導や助言といった施策に関わることで業務の円滑化、森林整備の進展及び林業の活性化が図れるものと期待をしている。

### ●学校教育について

立川の見解：8年度から新たな取組みがなされることは、大変素晴らしいことです。一方で、現地確認体制や明確な指導基準等、今後さらなる改善を要する点については、引き続き取り組んでいきます。



本市には現在、2校の義務教育学校があります。小中学校適正規模・適正配置基本計画後期計画(改定版)には、今後、市内の残るすべての小中学校を施設一体型義務教育学校に再編する方針が示されています。令和10年4月に開校予定のかえで義務教育学校の設計施工等にかかる費用は約92億円で、今後整備予定の7校を含めれば、本計画にかかる総事業費は一千億円規模に達することが予想されます。施設一体型の義務教育学校は、様々なメリットがあると言われます。一方で、現場からは、「小中学生が我慢をしている」「教職員にかかる負担が大きい」「施設分離型の小中一貫校も検討すべきではないか」等の意見も上がっています。数十年にわたるこの大規模な計画が子どもたちの教育にとって最善の選択であるのか、根拠に基づいた検証が不可欠であるとの考えの下、質問を展開しました。

### 質問の一部の要旨：効果検証

アンケートにおいて、義務教育学校のメリットと同様にデメリットについても調査し、数値化した上で市民に向けて公表すべきであると考え、本市の見解を伺う。

### 答弁の一部の要旨：保護者、教職員に対するアンケートでは、教育上のメリットが期待される項目を中心に調査をした。メリット及びデメリットについては、自由記述で回答をいただいた欄があり、要約したものを公表している。デメリットについては、要約したものを公表していたが、数値化していなかった。今後は、いただいたご意見を数値化して分かりやすくお示しできよう努める。学力や生活状況の推移など公表可能な複数の指標を用いた総合的な精査に努めていく。本市では、建設事業費のみならず、ライフサイクルコスト、教育的効果、将来人口の動態等を踏まえ、総合的な費用対効果を分析し、その必要性と妥当性について精査している。

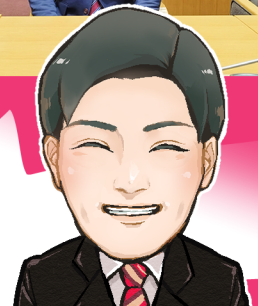
### 立川の見解：アンケートの妥当性・信頼性を高める方向で答弁いただけたことは、公正中立な効果検証に繋がる良い流れです。答弁にある「公表可能な複数の指標を用いた総合的な精査」が今後しっかりとなり、広く市民に周知されるよう、今後も取り組んでいきます。

## 立川しゅんいち Profile

【経歴】昭和62年(1987年)12月21日生まれ、佐野市立常盤小学校、佐野市立常盤中学校、栃木県立栃木高等学校、慶應義塾大学法学部法律学科、東京未来大学こども心理学部 こども心理学科(通信教育課程)卒業。平成27年、教員として県内小学校に勤務し、令和2年、養育長として乳児院に入職。令和5年、佐野市で里親として第二種福祉事業であるファミリーホームを開設する。【所属】葛生ライオンズクラブ、佐野市消防団第2分団、佐野ユネスコ協会、男女共同参画ネットワークさの、佐野青年会議所



活動の様子を更新しています



X(旧Twitter) : @tachikawa\_shun1



Facebook (フェイスブック)



Vonnector



Youtube



Instagram

# 予算審査：コミュニティ・スクールの在り方、臨時財政対策債の繰上償還について

## 予

算審査では、14の事業等について質疑をいたしました。その一部を要旨をご紹介します。

●コミュニティ・スクール推進事業費  
質疑：学校運営協議会の会議内容の公開状況と議事録作成の有無について伺う。

答弁：公開については、学校運営協議会規則(以下、規則)第12条に「協議会の会議はこれを公開するものとする。」と定めてある。公開の方法については、同条第2項に「前項の会議の公開に関する取扱については、佐野市附属機関等の会議の公開に関する指針(以下、指針)の例による。」と記載されている。公開については、指針の第5条公開の方法を参考にして、傍聴によって公開をしている。議事録作成については、規則に規定は無いが、規則第20条の通り、別に定めていて、会議後に各学校で作成してもらっている。

立川の見解：学校運営協議会制度のねらいである「地域とともにある学校づくり」を実現するためには、まずは「地域に開かれた学校」でなければならず、そのためには学校運営協議会においてどのような議論が交わされているのかを地域住民に知っていただく必要があります。しかし、多くの方にとって、仕事や家庭がある中で、実際に足を運んで傍聴するのは容易ではありません。そこで、指針にある通り、他の附属機関同様に市HP等で会議の概要報告を公表することが望ましいと考えます。他自治体(下野市、芳賀町等)の実践を参考にして、地域と学校が侃々諤々の議論を通じて教育力を高めていくコミュニティ・スクールであってほしいと思います。

●他委員の質疑に対する答弁について

小倉委員からの臨時財政対策債の繰上償還についての質疑に対し、「臨時財政対策債は交付税措置が継続するが、実額算入による市債は交付税措置が終了する。」旨の答弁がなされています。委員会後、総務省より発出されている「令和7年度普通交付税地方特例交付金(市町村分)調査表記載要領」を確認したところ、臨時財政対策債以外の市債を繰上償還した場合にも交付

税措置が継続される(一部例外あり)ことを前提とした事務手続の要領が記載されていたため、担当課に報告をしました。程なく、担当課より答弁内容の訂正がなされ、今後は金利等の状況を踏まえ、必要に応じて臨時財政対策債以外の市債に関しても繰上償還の検討をするという話を伺うことができました。今後も注視していきたいと思っております。

## 教育長の任命に関する議案質疑、会派を代表して

### 定

例会最終日に、教育長の任期満了に伴う後任の教育長の任命に関する議案が上程されました。同じ会派である長浜成仁議員から「これまでは、教育長の任命についての議案は、定例会初日(金曜日)に議案説明がなされ、週明けに採決をしていたので、賛否を判断する時間が確保されていた。今回は判断するための時間が確保されておらず、議案自体の正当性に疑問を覚える。」という旨



の説明を受け、私も疑問に感じました。今回は私が代表し、任命される人物の適不適に関する観点ではなく、熟考を要する議案の上程

## 本会議議案質疑

のあり方等の3点について議案質疑を行いました。

賛否入り混じる施設一体型の義務教育学校を推進する本市において、教育行政の第一義的な責任者である教育長の任命及び同意は、これまで以上に重要性を帯びたものであり、任命をする市長の責任は重く、同意をする市議会についてもまた同様です。なお、平成28年文科省より出ている「新教育委員会制度への移行に関する調査及び教育委員会制度への移行に関する調査の結果に係る留意事項について(通知)」にも、「教育長の任命の議会同意に際して、例えば、候補者が所信表明を行った上で質疑を行うなど、(中略)教育長の担う重要な職責に鑑み、教育長の資質・能力を十全にチェックするため、教育長の任命の議会同意に際しては、可能な限り、丁寧な手続を経ることが期待される。」とあります。

答弁の中では、定例会最終日の上程に至った諸事情及び後任者に期待することの説明がなされ、賛否の判断をするに足る答弁と判断し、採決では賛成をいたしました。今後は、議案の性質を鑑み、より慎重な手続が取られることを期待しています。

皆様のご意見をお寄せください

**立川しゅんいち**

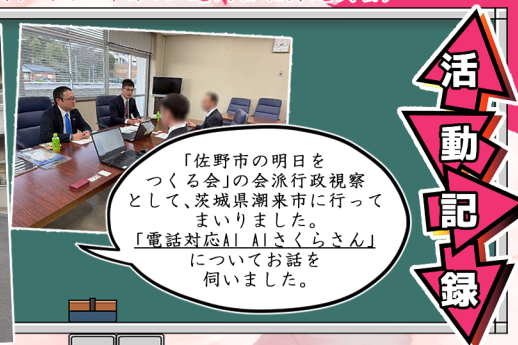
TEL:070-9298-3299

mail:tachikawa.shunichi@gmail.com



市政の健全な運営と、市民の皆さまの生活の安心安全の向上を図るため、誠心誠意取り組んでまいります。市民の皆さま、ご質問やご意見がありましたら、どうぞお気軽にお知らせください。

立川俊一



「佐野市の明日をつくる会」の会派行政視察として、茨城県潮来市に行っていました。  
「電話対応AI AI さくらさん」についてお話を伺いました。

活動記録